

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2026年3月期 第3四半期 連結決算の概要

2026年2月6日

連結：減収減益

売上高 48,975百万円 (△3,660百万円)
営業利益 189百万円 (△ 630百万円)

売 上： 日本国内ではがん治療領域や栄養領域が継続伸長したものの、海外では血液・細胞領域の主力製品が減少したことにより減収

利 益： 海外主力製品の減収影響により減益

システム別売上高

血液・細胞： 北米向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグが減少

輸液・栄養： 薬剤調製・投与クローズドシステム及び摂食嚥下関連用品が堅調に推移したものの、医療用手袋や排尿排液関連用品の戦略的取引見直しにより減少

地域別売上高

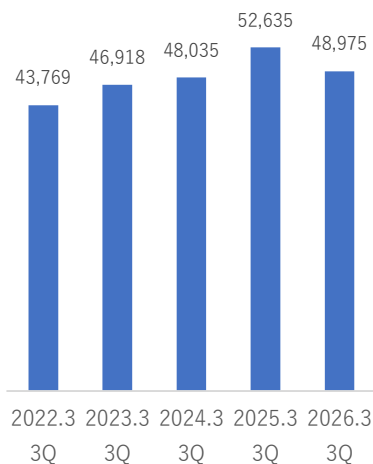
北 米： 大手顧客の在庫調整により成分献血用回路が減少

アジア： 血液バッグ及び中国国内の血液透析装置等と A V F 針（血液透析用針）が減少

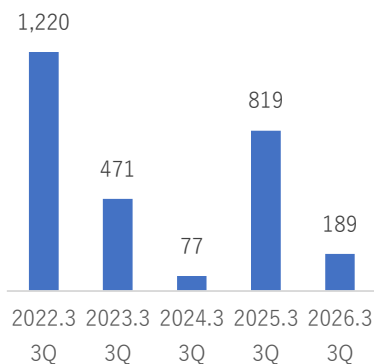
(単位：百万円)

	2025年 3月期 3Q	2026年 3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	52,635	48,975	△3,660	△7.0%
営業利益	819	189	△630	△76.9%
経常利益	632	275	△357	△56.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209	△104	△313	—

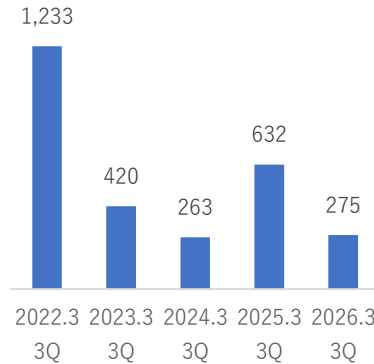
売上高



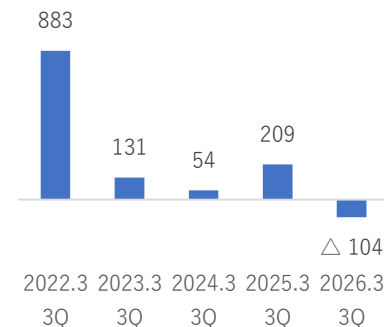
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

シンガポール： 北米向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグの販売が減少し、減収影響を受けたものの、為替差損の減少により赤字縮小

日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムや摂食嚥下関連用品が継続伸長したものの、急性血液浄化装置及び中国向け血液透析装置等の減少により減益

（単位：百万円）

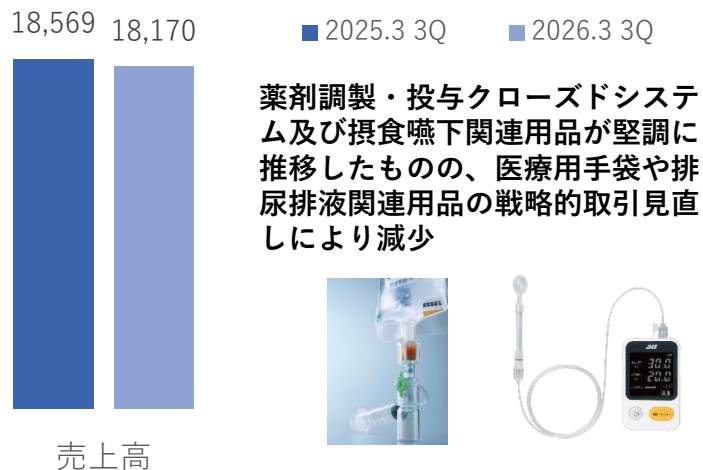
		2025年 3月期 3Q	2026年 3月期 3Q	増減額	増減率
日本	売上高	34,942	33,973	△968	△2.8%
	利益	1,150	599	△551	△47.9%
シンガポール※	売上高	19,762	17,061	△2,701	△13.7%
	利益	△ 255	△ 116	138	—
中国	売上高	3,167	3,060	△106	△3.4%
	利益	△ 7	127	135	—
フィリピン	売上高	2,853	2,536	△316	△11.1%
	利益	△ 277	△ 537	△259	—
ドイツ	売上高	3,328	2,977	△350	△10.5%
	利益	338	345	6	1.9%
その他※	売上高	3,711	4,331	620	16.7%
	利益	△ 272	△ 192	79	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます

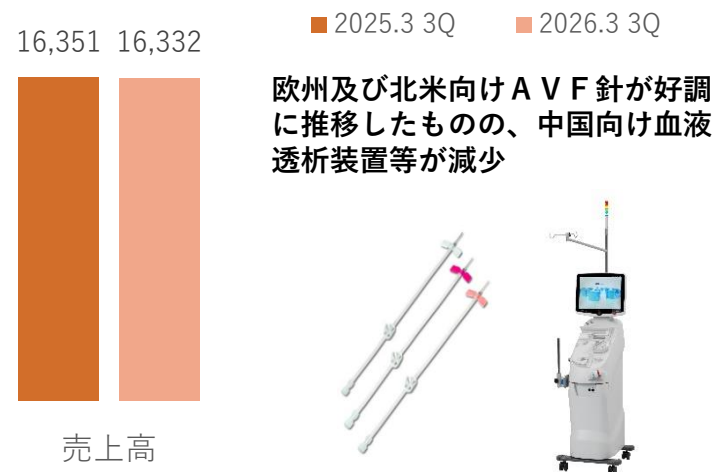
※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます

(単位：百万円)

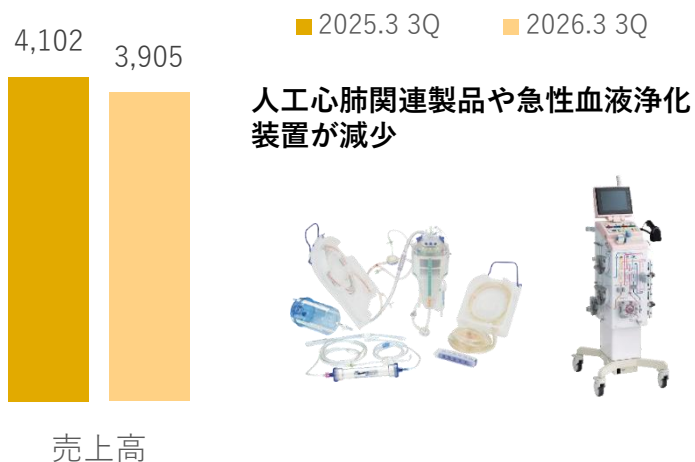
輸液・栄養領域



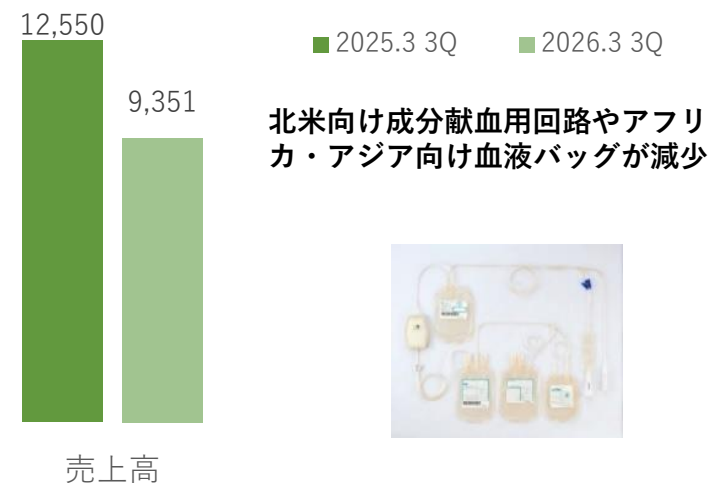
透析領域



外科治療領域



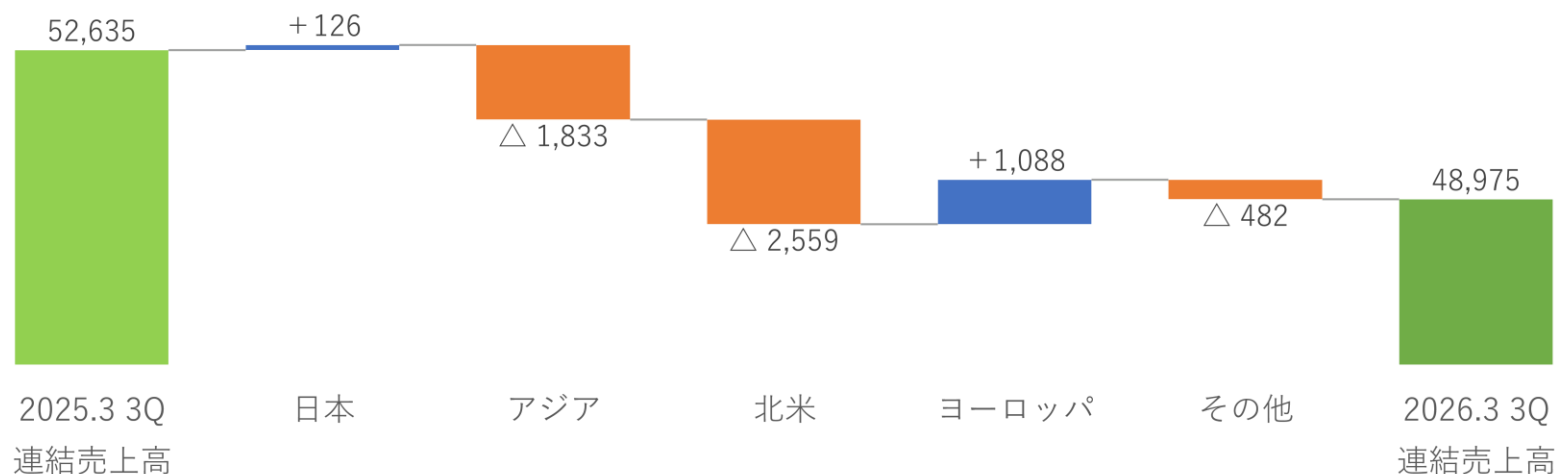
血液・細胞領域



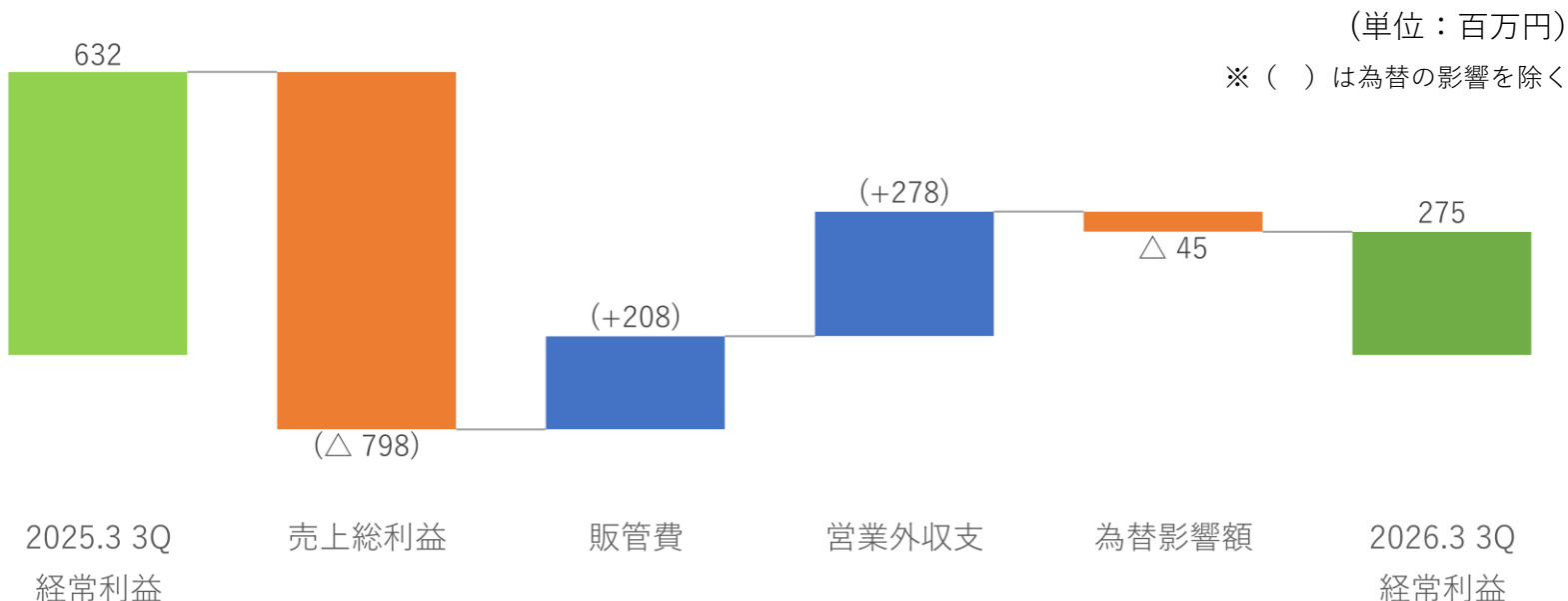
日本国内では薬剤調製・投与クローズドシステムと摂食嚥下関連用品が好調に推移し、欧州及び北米では A V F 針の販売が好調だったものの、北米の成分献血用回路及びアジアの血液バッグが減少

(単位：百万円)

	2025年 3月期 3Q	2026年 3月期 3Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	30,146	30,272	126	0.4%	61.8%
アジア	9,537	7,704	△1,833	△19.2%	15.7%
北米	6,045	3,486	△2,559	△42.3%	7.1%
ヨーロッパ	4,931	6,020	1,088	22.1%	12.3%
その他	1,974	1,492	△482	△24.4%	3.0%



海外主力製品の減収により売上総利益が減少、販管費の減少や投資利益等のプラス要因はあるものの経常利益は減少



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2025年 3月期 3Q	152.57 円	164.40 円	114.25 円
2026年 3月期 3Q	148.74 円	165.54 円	114.97 円

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回公表した2026年3月期の通期連結業績予想を修正しました

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期		対前期 増減率
		前回予想	今回予想	
売上高	69,749	66,000	65,000	△6.8%
営業利益	872	500	200	△77.1%
経常利益	514	300	200	△61.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	100	△800	—

※業績予想の修正にあたっては、前提となる為替レートを、
1米ドル＝152円、1ユーロ＝169円、1シンガポールドル＝121円 としております

売上： 海外では血液・細胞領域の主力製品が引き続き減少すると予想されるものの、日本国内のがん治療領域や栄養領域の継続伸長、欧州及び北米向けA V F針の好調な推移により減収幅は限定的な見込み

利益： 物価高騰に伴う価格転嫁や不採算品目の整理を進めているものの減収影響により減益
また、構造改革の一環として韓国生産拠点における固定資産及び棚卸資産の廃棄等に
係る特別損失7億円（概算値）を計上する見込み



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。